

Title	臨床哲学 第19号 編集後記／執筆者／奥付
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 19
Issue Date	2018-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68172
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

昨年末の発刊予定が大幅に遅れ、年度末になってしまった。理由は、編集作業を技術的にサポートしてくれる人材がいなかったこと、それにも関わらず無理して In-Design で編集しようとしたことである。結局、途中で全部 Word に切り替え、編集作業を最初からやり直した。執筆者の皆さんに、また読者の皆さんに、お詫びを申し上げる次第である。

さらに、雑誌の今後についても記しておかなければならない。今年度（2017年度）、臨床哲学研究会を継続するかどうかについて議論した。長年（とりあえず）続けてきた研究会の趣旨が見えにくくなっていること、また（主に大学院生による）運営体制の維持が難しくなっていることなどから、一旦リセットすることになった。これに伴い、研究会と連動させてきた雑誌『臨床哲学』も一旦休刊する。来年度は東アジア哲学会議（2018年1月29日開催）での発表原稿を「特別号」として掲載する予定ではあるが、その後の20号の発刊予定は今の時点ではない。

研究活動・社会活動の新しい試みを発信する場として、臨床哲学研究会や雑誌『臨床哲学』を支持し活用しようとしてくださる人々も、少なくないに違いない。そうした人々に対して、本当に心苦しいかぎりである。しかし、臨床哲学の活動が終わったわけではない。ある種の惰性で続けるよりは、研究会や学術雑誌（査読付き）という発信媒体を「欠く」ことで、今一度何が必要なのかを考え直す機会になろうかと期待する。（堀江）

執筆者（執筆順、所属等は執筆時のもの）

永浜 明子（大阪大学大学院文学研究科 博士後期課程）

横田 恵子（神戸女学院大学文学部 教授）

大北 全俊（東北大学大学院医学系研究科 助教）

堀 寛史（藍野大学医療保険学部理学療法学科 講師）

Irina Poleshchuk（ヘルシンキ大学社会科学部 Post Doctoral Researcher）

浜渦 辰二（大阪大学大学院文学研究科 教授）

ほんま なほ（大阪大学 CO デザインセンター 准教授）

前原 なおみ（大阪大学大学院文学研究科 博士後期課程）

栗田 隆子（働く女性の全国センター 代表）

服部 佐和子（国立循環器病研究センター医学倫理研究部 流動研究員）

三ツ田 枝利香（大阪大学大学院文学研究科 博士前期課程）

Lisa Folkmarson Käll（ストックホルム大学 民族学・宗教史・ジェンダースタ
ディーズ学部 准教授）

青木 健太（大阪大学大学院文学研究科 博士後期課程）

『臨床哲学』19

2018 年 3 月 31 日 発行

編集・発行

大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室

560-8532 豊中市待兼山町 1-5

TEL: 06-6850-5099

Mail: rinsho@let.osaka-u.ac.jp